



6月4日

聖ペトロ・デ・ベロナと殉教者 司祭 記念

聖ペトロは1205年から1206年の頃マニ教徒である両親のもとにイタリア・ベロナに生まれ、後に説教者兄弟会に入会したのは彼がボロニア大学であったときで、修道服は聖ドミニコの手から受けている。

信仰の純粹さに対する熱意にあふれ、司祭に叙階されてから、イタリア北部と中央部にはびこっていた異端を防ぐために、よく説教し、教皇イノチェンシオからこの使命を特別に任せられていた。いろいろな町に聖母信心会を設立し、正しい聖母信心を広めた。そのために異端者たちの敵意を買いかい1252年旅の途中暗殺された。彼は短刀で刺された時、暗殺者を心からゆるし、「し主よ、わたしの 霊をみ手にゆだねます」といい、まさに息絶えんとした時、地面に自らの血で、「クレド・イン・ウム・デウス」「…なる神を信ず」

と書いて息絶えた。これは彼が生涯堅く守ったカトリック教義であった。しかし、殉教者の祈りによって、聖人の死を計画した異端者の司教と殺人者は改心したのであった。

1252年4月6日帰天。翌年教皇イノセント4世より列聖された。

【聖ドミニコ会聖人・福者暦】

- 1982年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母道院発行
- 1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院（瀬戸市東長根町）翻訳
- 2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父（ロザリオ管区）よる改定版から